

ガスBF風呂釜

31-718/717/718/719型

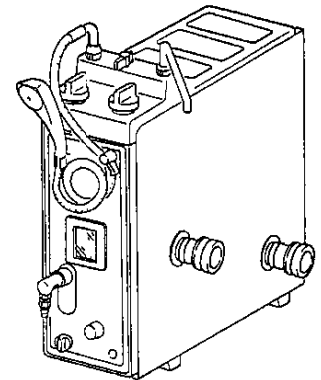
型式名 GBSQ-604S

■ 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ■

大阪支社	☎550	大阪市西区千代島3丁目2番95号	☎大 阪 06(588)3200
南部支社	☎580	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722(38)1131
北部支社	☎588	高槻市藤の里町39-8	☎高 槻0728(71)0381
東部支社	☎578	東大阪市福業2丁目3番17号	☎河 内0729(62)1131
兵庫支社	☎650	神戸市中央区東川崎町1丁目6番2号	☎神 戸079(360)3100
京都支社	☎800	京都市下京区中堂寺薬田町1番地	☎京 都075(311)7381
奈良支社	☎831	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈 良0742(44)1111
和歌山支社	☎840	和歌山市本町1丁目5	☎和 歌山0734(31)2481
兵庫西支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫 路0792(95)2221
豊岡支社	☎868	豊岡市三坂町8丁目57番地	☎豊 岡0788(23)2221
滋賀支社	☎525	草津市湯分町荒堀880の1	☎草 津0776(62)5311
滋賀東支社	☎522	彦根市大東町12番11号	☎彦 根0749(22)3131
(服部センター)	☎528	長浜市南浜服部町3番4号	☎長 浜0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター	☎541	大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大 阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

「おねがい」

ガスくさいときは、ガス元せんを開め、窓を全開にして（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

 **大阪ガス**

SAL8837

SAL8837

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスBF風呂釜をお求めいただき、ありがとうございました。

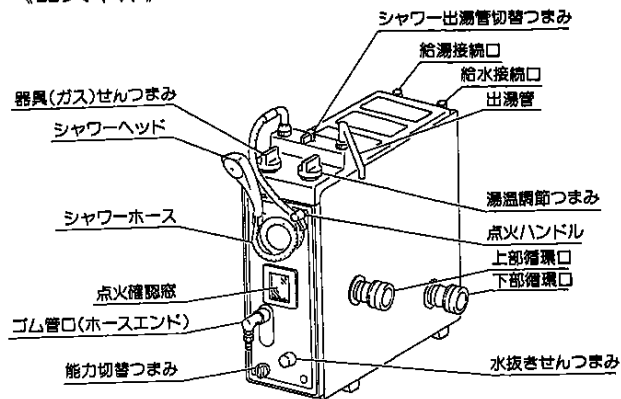
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

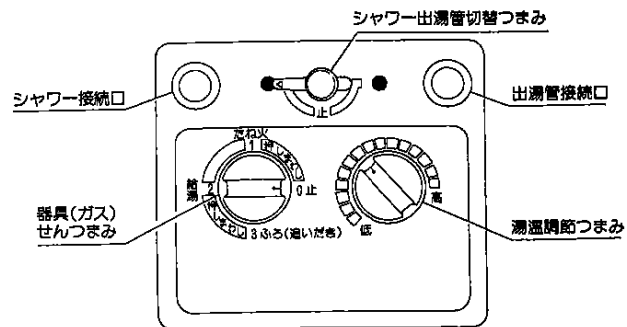
- ごあいさつ・もくじ..... 1
- 各部の名称..... 2
- ご使用方法..... 3
- 冬期の凍結予防について..... 7
- 特に注意していただきたいこと..... 8
- お手入れ..... 10
- 故障かな?と思ったら..... 11
- 主な仕様..... 13
- 保管とアフターサービス..... 14

各部の名称

《器具本体》



《操作部》



※1. 左に浴槽がある時(左水管の場合)はシャワー及び出湯管接続口の位置は反対になります。

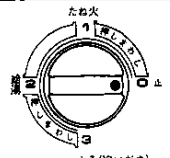
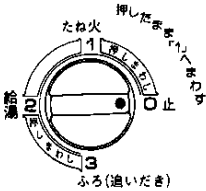
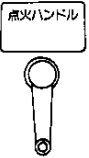
ご使用方法

■点火前の準備と確認

(はじめにご使用になる前に次のことを確認してください。)

- ①水抜きせんつまみが閉まっているか確認してください。
- ②給水元せんを開けてください。
- ③ガスの元せんは閉じたままで、シャワー出湯管切替つまみを出湯管側または、シャワー側に回してください。
(給湯配管をしている所では、配管先の給湯せんを開けて水を出してください。)
- ④給水・給湯配管部より水漏れがないかどうか確認してください。
- ⑤シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に回し、以下の方法でご使用ください。

たね火点火

準備	<ul style="list-style-type: none"> ●器具(ガス)せんつまみが「0」の位置になっているか確認してください。 ●ガスの元せんを開けてください。 	 <p>器具(ガス)せんつまみ</p>
たね火	<ul style="list-style-type: none"> ●器具(ガス)せんつまみを押し、左へ「1」(たね火)の位置まで回し、押したままで点火ハンドルを右へ回すと点火します。 点火確認窓よりたね火点火の確認をしてください。 〈注意〉 はじめで使用される場合はガス管等に空気が溜っていますので、1回で点火しない場合があります。この時はたね火が点火するまで器具(ガス)せんつまみを押ししたままで点火ハンドルを右へ回してください。 	 <p>器具(ガス)せんつまみ</p>
点火	<ul style="list-style-type: none"> ●点火確認後20秒程度器具(ガス)せんつまみを押し続けてください。 〈注意〉 器具(ガス)せんつまみより手を離してもたね火が消えないことを確認してください。 たね火が消えた場合はもう一度操作をやり直してください。 	 <p>点火ハンドル</p>

ご使用方法

お湯を使う場合

※気をつけて!

はじめに出る湯はぬるく、断続して使用する場合はあついお湯が出ますから出はじめのお湯を直接身体にかけないで、湯温が安定してからご使用ください。

給湯方法

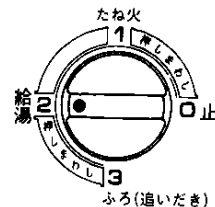
- たね火が点火していることを確認したうえで器具(ガス)せんつまみを「2」(給湯)の位置に合わせてください。

浴そうへ給湯またはあがり湯を使う場合

- シャワー出湯管切替つまみを出湯管側へ止まるまで回すと本火に火がついて出湯管よりお湯が出ます。
- お湯を止めるときは、シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置まで回してください。
本火が消えてたね火のみ残ります。

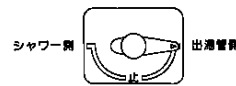
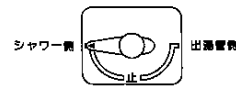
シャワーを使う場合

- シャワー出湯管切替つまみをシャワー側へ止まるまで回すと本火に火がついてシャワーよりお湯が出ます。
- お湯を止めるときは、シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置まで回してください。
本火が消えてたね火のみ残ります。

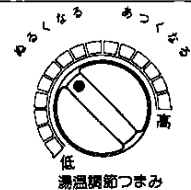


器具(ガス)せんつまみ

左に浴槽がある時(左水管の場合)は出湯管側及びシャワー側の位置は反対になります



- 湯の温度は湯温調節つまみで調節してください。
湯温調節つまみの●印を左「低」の方へ回すとぬるくなり右「高」の方へ回すとあつくなりますから、ゆっくりと少しづつ回し、お好みの湯温に調節してください。
(シャワー出湯管切替つまみでは湯温調節はできません)

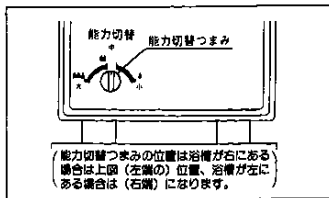


ご使用方法

■能力切替つまみの使用方法

- 湯の温度が湯温調節つまみで調節してもあつすぎる時前面下部にある能力切替つまみを「大」から「中」へ合わせてから湯温調節つまみで調節してください。まだあつすぎる時は能力切替つまみを「小」の位置に合わせてから湯温調節つまみで調節してください。
- 湯の温度が湯温調節つまみで調節してもぬるすぎる時、あつすぎる時とは逆に「小」から「中」に「中」から「大」へと切替えて湯温調節つまみで調節してください。

※能力切替つまみは「大」と「中」または「中」と「小」の途中で使用しないでください。



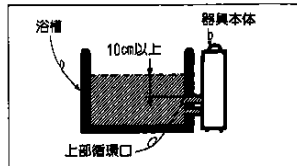
能力切替つまみの位置は浴槽が右にある場合は上図(左側)の位置、浴槽が左にある場合は(右側)になります。

風呂を沸かす場合(追いだき)

浴そうに給湯した後、お湯の温度がまだぬるい場合は次の要領で風呂を沸かしてください。浴そうへ水を入れてから沸かす場合は給湯で落とし込むより時間が長くなります。

■点火のまえに浴そうに水が十分満たされていることを確認してください。

- 浴そうの排水せんは水漏れのないようしっかり差し込んでください。
- 浴そう内の水面が上部循環口の上より10cm以上あることを確認してください。



〈注意〉

お湯(または水)が少ないと空だき状態となり器具の寿命を短くします。この状態を長く続けると危険です。水位には特にご注意ください。

	●たね火点火迄の操作は前記「たね火点火」の項をご覧ください。	
本火着火	●たね火が点火していることを確認したうえで器具(ガス)せんつまみを「2」(給湯)から「3」(ふる)へ止まるまで押し回すと本火(風呂用メインバーナー)に着火します。	<p>器具(ガス)せんつまみ</p>
本火消火	●お湯が過温になれば器具(ガス)せんつまみを右にまわし「1」(たね火)の位置に戻してください。 ※あとで、湯を使う場合は「2」(給湯)の位置に戻しておくとき便利です。	<p>器具(ガス)せんつまみ</p>

ご使用方法

風呂とお湯を同時に使う場合

- 風呂用バーナーに着火する方法は前記(風呂を沸かす場合)の項と同じです。
- 器具(ガス)せんつまみは「3」(ふる)の位置でシャワー出湯管切替つまみを、出湯側またはシャワー側に切替えてください。
風呂を追いだしながら、出湯管またはシャワーの使用ができます。

給湯配管して使う場合

この風呂釜から給湯配管(別途工事)して、台所や洗面所でもお湯が使えます。

〈注意〉

水道の元せんをあげ、配管元の給湯せんをあげ通水し、配管中の空気を追い出し、給湯せんからスムーズに水が流れ出ることを確認して給湯せんをしめてください。

- 器具(ガス)せんつまみが「2」(給湯)の位置で、たね火が点火していることを確認してください。
※たね火が点火していないときは、前記点火操作をし、器具(ガス)せんつまみを「2」(給湯)の位置に合わせてください。
- 使用する配管先の給湯せんをあげますと、自動的に本火(給湯用メインバーナー)に着火してお湯が使えます。
〈注意〉
①浴室外でお湯を使用中に浴室でシャワーやあがり湯を使うと浴室外では出湯量が減り、使用できなくなる場合もあります。
②湯温調節は湯温調節つまみ及び能力切替つまみで行なってください。
③給湯配管先でお湯を使う間は、入浴後もガスせんつまみを給湯の位置に合わせておけば点火操作の手間が省けます。

ご使用後

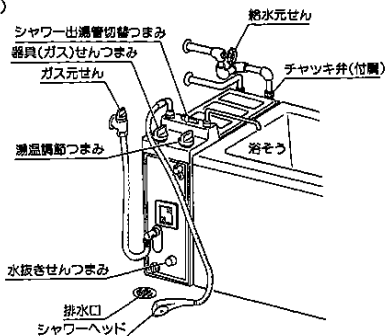
消火	●シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に戻してください。 (給湯配管している場合、配管先の給湯せんも確実にしめて下さい) ●器具(ガス)せんつまみを「0」の位置に戻すとたね火が消えます。 (消火したことを点火確認窓から確かめてください) 〈注意〉 入浴がすんでおやすみになる前、お出かけのときはガスの元せん、水道の元せんも必ずしめてください。	<p>器具(ガス)せんつまみ</p>
----	---	--------------------

冬期の凍結予防について

冬期、冷え込みが厳しく凍結するおそれのある日は、使い終わってから次の要領で必ず水抜きをして、凍結による器具の破損を防止してください。

(入居前や長期不在の場合も同じ操作をしてください。)

- ①器具(ガス)せんつまみを「0」の位置に戻します。
- ②ガス元せんに開きます。
- ③給水元せんに開きます。
- ④シャワー出湯管切替つまみを出湯管側の位置まで回し、湯温調節つまみを「低」の位置まで回します。
- ⑤水抜きせんつまみを左にまわすと、つまみ中央の穴から水が抜けます。
- ⑥この時シャワーヘッドを、シャワーハンガーからははずし、床に置いてシャワーホース内の水も抜いてください。



- 上記①～⑥は次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- 入居前や長期不在の場合は①～⑥の操作に加えて、浴そうの水も抜いてください。

次に使用するときには、各つまみを元の状態にして、一度水を通して水の出ることを確認してから点火してください。

〈凍結したときは……〉

凍結したまま使われますと、器具に異常を生ずる場合があります。凍結が溶けた後、水漏れがないのをご確認のうえ、ご使用ください。

特に注意していただきたいこと

■ 使用ガス・使用電源についてのご注意

- 器具の銘板に表示されているガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。

型式名
13A
12A
株式会社ノーリツ

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

■ 市販の補助用具についてのご注意

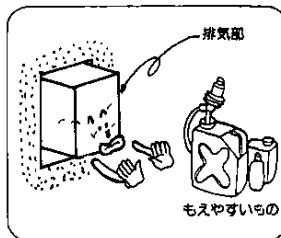
- この器具の純正部品以外は使用しないでください。
(不完全燃焼の原因となります。)

■ ガス漏れ予防

長時間使用しない場合は、浴室内ガス元せんに開けてください。

■ 火災予防

器具の排気部の周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に洗たく物などであわなさないでください。



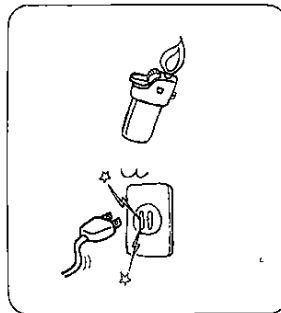
■ やけどのご注意

使用中および消火直後は、排気部やその周囲が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。

■ ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんにをしめ、お買い求めの販売店または大阪ガス安社にご連絡ください。

(注) 係員が処置するまでは、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しや、近くの電気器具の「入・切」をしないでください。



特に注意していただきたいこと

- 器具（ガス）せんつまみは、「0」、「1」、「2」、「3」の位置に合わせてください。中間の位置では火がつかず、不完全燃焼して故障の原因となります。

■入浴時のご注意

- 浴そうの循環口をタオル等でふさぎますと正常にお風呂沸かしができません。
- 追いだき中や追いだき後は、浴そう水の上部と下部では相当な温度差があります。入浴時には十分かきまぜてください。

■健浴剤（入浴剤）についてのご注意

強酸、強アルカリの洗剤及び硫黄を含んだ健浴剤（入浴剤）は熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。

塩素系のカビ洗浄剤や、酸性タイプの浴室用洗剤、消臭剤などが器具本体やガス管など金属部分にかかった場合はすぐに十分水洗いをしてください。

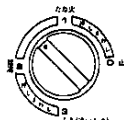
■出湯についてのご注意

- 湯量を絞りすぎますと、消火しお湯になりません。
- 出湯管にゴムホースを接続して他所へ給湯することは避けてください。

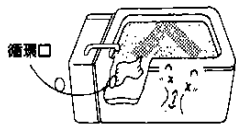
- シャワーを使用されるときは、手で湯温を確認してからお使いください。
- シャワーホースは、折り曲げてご使用にならないよう注意してください。

■異常時の処理

万一、異常燃焼をおこしたときや、緊急の場合には、右図の処置をし、お買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。



操作は確実に!!



給水元せん・ガス元せんをしめる。



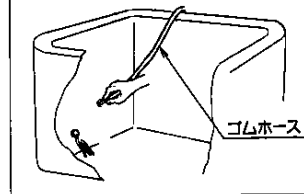
特に注意していただきたいこと

次のような場合は故障ではありません

- ※夏期には、連結ゴムに水滴が付着することがありますが、これは凝結水で水漏れではありません。
- ※冬期、点火時に給排気トッパから白い煙が出ることがありますが、これは、水蒸気等でガス漏れではありません。
- ※燃焼中、浴そう内を攪拌すると、釜内で「ポコン、ポコン」と異音を発生することがあります。

お手入れ

- ガスホースが濡んでいないか時々点検してください。
- 点火確認窓は、炎がよく見えるように時々拭いてください。
- 浴室の排水口をよく掃除して釜が水浸ししないように注意してください。
- 熱交換器内の掃除
 - ①上部循環口の淵止めキャップを外します。
 - ②循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出します。
 - ③上部、下部循環口と交互に水洗いしますと、熱交換器内はきれいになります。



いつでもきれいにお使いいただくために

- 浴室は湿気が多いので、使用後必ず窓等をあけ換気をよくしてください。
- 使用後、乾いた布で外装についた水分を拭き取ってください。
- 風呂釜の上には絶対に物を置かないでください。（特に、金属性のヘアピン、カミソリ、おもちゃ等を置いたままにしておきますと、さびる原因となります）
- ※万一、さびが浮き出た場合は乾いた布で拭き取ってください。そのまま放置しますと、さびは進行していきますのでご注意ください。
- 浴室の排水口をよく掃除して、排水が充分行なえるようにし、風呂釜の底部が水につかないようにしてください。
- つまみの部分には、極力湯・水がかからないようにしてください。（水が風呂釜の内部に入りますと、機構部の耐久性が悪くなりますのでご注意ください）
- 浴室に洗濯機等の排水をされる場合、排水が直接風呂釜にかからないように注意してください。

故障かな?と思ったら

■早見表

現象	原因										対策及び 処置方法
	パイロットバーナー の点検	パイロットバーナー の調整	パイロットバーナー の清掃	パイロットバーナー の交換	パイロットバーナー の修理	パイロットバーナー の部品	パイロットバーナー の部品	パイロットバーナー の部品	パイロットバーナー の部品	パイロットバーナー の部品	
ガス元せんの開き忘れ	○										ガス元せんを全開にする
ガス元せんの開き不足	○	○	○	○							ガス元せんを全開にする
ゴム管の折れ曲がり	○	○	○	○							折れ曲がりをなおす
ゴム管のヒビ割れ、穴あき					○						※
ゴム管の抜け、差し込み不足						○					※
ガス配管中に空気が残っている	○										空気が抜けるまで、しばらく点火操作をする
ノズルづまり	○										※
くもる集で燃焼管内がつまっている	○				○	○	○	○			※
器具(ガス)せんの故障											※
器具(ガス)せんとつまみの保持不足	○										つまみは約20秒保持する
器具(ガス)せんとつまみの回し不足	○				○	○	○	○			つまみは止まる所まで確実にまわす
ガス圧が適切でない	○										※
立ち消え安全装置の故障	○										※
立ち消え安全装置の作動											※
空焚き安全装置の作動	○										※
過熱防止装置の作動					○						※
過圧防止安全装置の作動	○										※
バーナー炎口づまり					○	○	○				※
給排気筒内の排気異常はずれ						○					※
給排気筒まわりに障害物がある					○	○					給排気筒まわりに障害物は取り除く
器具と浴そうのレベル不調										○	※
浴そう水量が多すぎる										○	「能力表」通りの水量で使用する
浴そう水量が少い(湯かきすぎ)										○	上部確認口のより10cm以上水を入れる
器具が濡水した	○				○	○					※(排水レバーの操作)
水圧が低すぎる										○	※
水圧が高すぎる										○	※(給水元せんを絞る)
他の水せん使用による水圧変動						○	○	○			給水元せんを全開にする
水ガ/ナの使用											※
給水元せんの開き忘れ											給水元せんを全開にする
給水元せんの開き不足											給水元せんを全開にする
シャワー出湯切り替つまみの開き不足											シャワー出湯切り替つまみを全開にする
給水フィルターのカゴづまり											※
粗末水せんのつまみ											内部の金網を掃除する
シャワー吐出口(敷水板)のつまみ											掃除する
蒸気圧力調整つまみが適切でない											正しい燃焼調整をする
水抜き忘れ											※(水抜き操作をする)

■対策及び処置方法の項で※印の場合は使用を中止し、ガス元せんを開めて、販売店又は大阪ガス支社にご連絡ください。

故障かな?と思ったら

安全装置が作動したときの処置方法

安全装置名

安全装置の働き

処置方法

立ち消え安全装置

使用中に万一、パイロットバーナーの炎が消えたときには、自動的にガスを止めてしまい、メンバーバーナーも消えてしまいますので、そのままでは使用できません。

パイロットバーナー、又はメンバーバーナーの消火に気づいたときは、すぐ器具(ガス)せんとつまみを「0」の位置に戻してください。
(注意)
再度点火されるときは器具内に残ったガスが排出されるまで、2~3分待つてから点火操作を行なってください。

空だき安全装置

—(風呂側)—

万一、風呂釜を空だきしたときは、釜の温度上昇をキャッチして、自動的にガスを止めてしまい、バーナーの火を消して事故を防止します。

万一、空だきをした場合は、釜が自然に冷えるのを待ってから浴槽に水を入れ、再点火してください。
(注意) 空だきは器具の寿命を短くしたり、浴そうをいためたりしますので、空だきしないよう注意してください。
うっかり、メンバーバーナーを消し忘れてお湯が沸騰状態になったときも空だき安全装置が作動することがあります。

過熱防止装置

—(湯沸器具)
(温感ヒューズ)

使用中に器具に異常が生じ器具内の温度が異常に上昇したとき、装置が、働きガス通路を閉じてメンバーバーナー、パイロットバーナーの炎が消えます。

この装置が働くと、部品交換をしないと使用できませんのでお買い求めになった販売店又は大阪ガス支社にご連絡ください。

過圧防止安全装置

—(湯沸器具)
(残火安全装置)

万一、熱交換器内の圧力が異常に上昇した場合、逃し弁が働き内圧を下げ、ガス通路を閉じてメンバーバーナー、パイロットバーナーの火を消します。

この装置が働くと器具の診断が必要ですから、お買い求めになった販売店又は、大阪ガス支社にご連絡ください。

※安全装置が頻りに作動する場合は、器具の点検が必要ですから、お買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

主な仕様

商品の呼び	31-716~719 型		
型式の呼び	GBSQ-804S		
本体外形寸法 (mm)	全高	710mm	
	全幅	230mm	
	奥行	590mm	
配管接続口径	給水・給湯接続口径	R $\frac{1}{2}$ (15A)	
	ガス接続口径	ϕ 13mmホースエンドまたはR $\frac{1}{2}$ (15A)	
水圧	使用水圧	C.7kg/cm ² 以上	
	作動水圧	湯温調節つまみ全閉時0.35kg/cm ² ・湯温調節つまみ全開時0.5kg/cm ²	
最低作動水量	湯温調節つまみ全閉時2.3ℓ/分・湯温調節つまみ全開時8ℓ/分		
点火方式	圧電式点火		
循環パイプ取付口径	ϕ 45mm(外径)		
制御装置	水圧自動ガス弁(ダイヤフラム部) 能力切替装置(能力切替つまみ) ガス圧自動調整器 水圧自動調整器		
安全装置	立ち消え安全装置 過圧防止安全装置(残火安全装置) 空だき安全装置 過熱防止装置 凍結防止装置(水抜きせん) 沸騰防止装置		
製品重量(kg)	本体	23kg	
	給排気トップ	5kg(300型の場合)	

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量(kcal/h)				出湯能力(kℓ/分)				
	風呂 洗い 湯	給湯 能力大	同時 使用	同時 使用	水温+15℃上昇		水温+25℃上昇		水温+40℃上昇
					大	小	大	中	
大阪 ガス	13A	8,400	12,000	20,400	10.9	3.4	6.2	4.1	3.9

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

◎出湯能力は計算値です。

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

保管とアフターサービス

●長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 (1)ガスの元せいを閉じる。
 (2)給水元せいを閉じる。
 (3)器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は7ページを参照してください。)

●アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- ①まず「故障かな?と想ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときは
お買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
- ②アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
 2. 品名……31-716~719型(右のようなラベルを器具の正面に貼付けてあります)
 3. 現象……できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日

(例)

(N)31-716

大阪ガス株式会社

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、器具の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- このガス風呂釜には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス風呂釜の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造日切後7年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。